

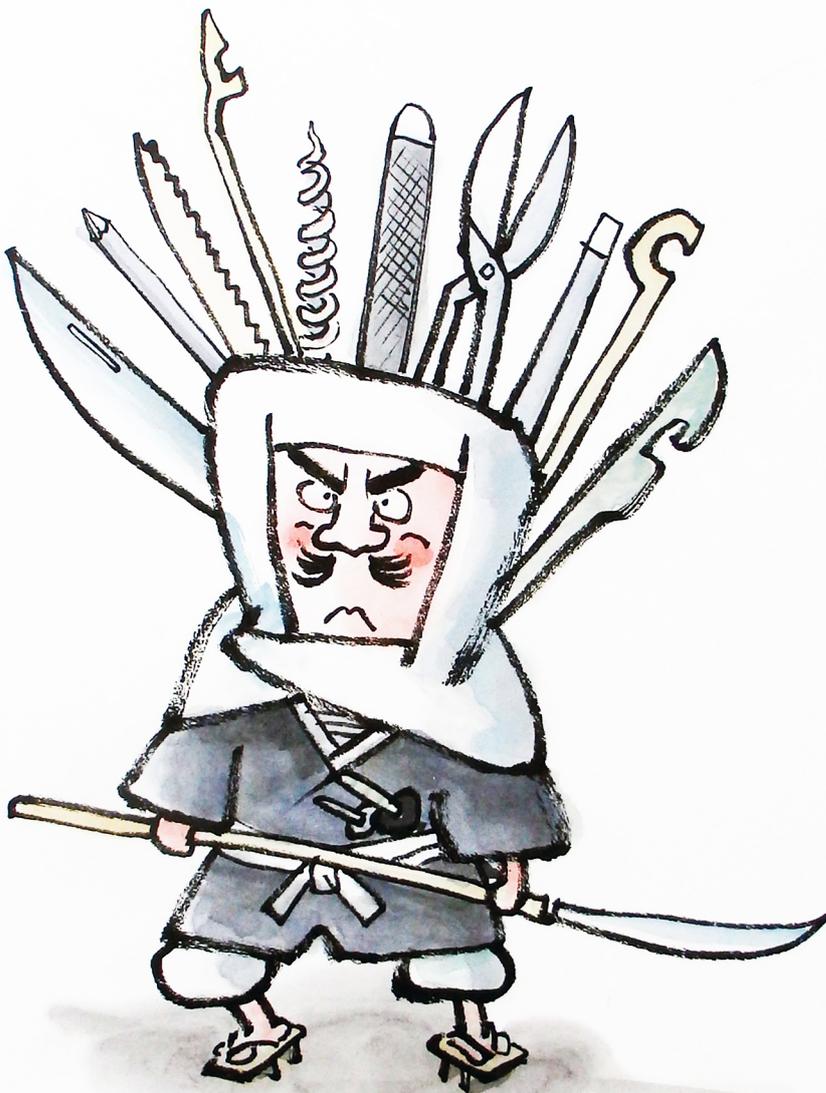
篠原ユキオ

1948年 東大阪市生まれ
京都教育大美術科卒
京都精華大学名誉教授
(公社)日本漫画家協会参与
FECO JAPAN 会長

十徳ナイフを持ち歩いていると凶器
携帯ということで逮捕されるらしい。
『正当な理由なくして刃物鉄棒その
他人の生命を害し、又は人の身体に
重大な害を加えるのに使用されるよ
うな器具を隠して携帯していた者』
は軽犯罪法にあたるというのである。

そんなアホな！と思うが実際にそれ
で検挙された件数は年間三百人以上
あるらしい。先日それを不服として
控訴した人が高裁で有罪判決が出て
いる。
十徳ナイフは昔から便利な道具とし
て男の子には人気のグッズだった。

法律の文言で当てはめると、カッタ
ーナイフもカナツチもノコギリも当
然アウトだ。ハサミもドライバーも
凶器となる。もしもの時のために、
という自分なりの理由も裁判官の胸
先三寸ということになる。
ヤレヤレ何とも悩ましい時代である。



十徳弁慶



介錯ツイート

死に直面した時、何を言うかは
誰もが一度は考えたことがある
だろう。

石川五右衛門や浅野内匠頭の辞
世の句は子供の頃から聞かされ
て知っていたが、多くの偉人た
ちが死ぬ間際に言った言葉など、
その時のアドリブなのかずっと
前からこれを言おうと準備して
いたものか、それとも後付けで
伝えられてきたものかいろいろ
想像するのだが、病気でもうろ
うとした中では準備していた言
葉など出るはずもなく、それな
りの人たちはこれという時には
決め言葉がちゃんと浮かんでく
るのはすごいなあと思う。
そんな多くの人たちの言葉の中
で、立川談志さんが死ぬ前に弟
子との筆談で書いた最期の言葉
が『お××こ』だったという話
はとても衝撃的だった。



勝負あり！

昨今の新聞各社の凋落は時代の変化を如実に表しているが、その際たるものが新聞広告の質の低下である。多くが高齢者向けの健康食品や介護用品のもので占められていて、いかに若者が新聞を読んでいるかが伺える。おまけに昔なら駅売りの夕刊紙ぐらいにしか載らなかつた精力剤の広告がやたら多い。そしてそこに使われるコピーの低下な表現にはうんざりする。それは多くのネット上の広告にも共通していて、世の中の高齢男性はみんな自分の性機能の低下に深刻な悩みを持っているという前提が腹立たしい。これは当然、人それぞれ個人差のある事だし、無理に薬を使つてという事には興味が無い。自然体でその年齢なりの生き方をすれば良いのだし、女性に対しても失礼な話だと思う。まあ、無理してるのはすぐに分かりますけどね。

目薬をさす

いつの頃からだろうか選挙事務所に置かれたダルマに当選者がにこやかに目を描き入れるセレモニーが控えられるようになったのは…。障がい者への配慮という事からだと、いうが達磨自身が手も足も無い障害者なのでそれを商品として販売する事自体問題になりそうなのだが、これは反対に縁起物として特に問題は無いようだ。選挙事務所からダルマが消える事には何の感傷も無いし、代わりはくす玉でもクラッカーでも良いと思うが、触らぬ神にタタリ無しという気分で物事を深く考えないまま次々と排除してゆく風潮には違和感を感じる。目薬さしてちゃんと物事の本質を見つめ直したいものである。



しおりちゃん



本を買った時に書店がつけてくれるしおりはよく落とす。仕方なく自分の名刺や近くにあった紙片を挟み込んだりするがなんとも味気ない。しおり紐がついているのが有り難いが何も無い時は表紙カバーの紙をそのページに差し込む事になっている。子は鏡（かすがい）とは良く言われるが葉（しおり）ということも使える。そうだ。この字には道しるべという意味もあるのである。

マフラー

昭和の暴走族を『カミナリ族』と呼んだ。当時のサザエさんやフクちゃんなどの新聞の4コマ漫画にも度々登場している。爆音を響かせながら大通りを駆け抜けてゆくオートバイの若者たちの迷惑行為は今も昔も変わらないが、当時のテレビのヒーロー、月光仮面や少年ジェットが比較にならない程の少ない排気量のバイクにまたがって疾走するシーンを心踊らせながら眺めていたものだ。



マフラーを取り外したり改造して自己アピールをする連中の真理は分からないでもないが、どうせやるなら心に響く心地良いものにしたら良いのと思う。右翼の街宣車の流す軍歌は迷惑なものだが、たまにちょっと心が高揚することもある。子供の頃、時折りやってきた口バのパン屋のテーマソングも子供心を引きつけるものがあつた。

虚無僧は禅宗の一派の普化宗の僧。子供の頃は見かけたこともあつたが最近では会う事はなくなった。昔の東映時代劇には謎の人物として扱われる事も多かった。罪を犯した武士は普化宗の僧となれば、刑をまぬがれ保護されたというから問題な人間も多かったようだ。暴走族の青少年も虚無僧となって修行させるのもアリかもしれない。